

## 令和7年度ピーマン栽培講習会を開催

令和7年9月4日(木)、9月11日(木)に、神栖市のピーマン生産者を対象として、収量向上とウイルス病まん延防止を目的としたピーマン栽培講習会を神栖市内公民館で開催し、生産者・資材店職員延べ60名が出席しました。講習会のテーマを「収量を伸ばして、病気も防ぐ! 攻めと守りのピーマン講座」とし、①ピーマン増収のカギ、②ウイルス病と線虫対策、③農薬適正使用について講義しました。主な講義の概要については、以下のとおりです。

### ① ピーマン増収のカギ

ピーマン増収のためには、光や温度などのハウス内環境を好適に管理することが有効であることや、実用的な施肥管理として「リアルタイム栄養診断」に基づいて行う方法を紹介しました。さらに、「リアルタイム栄養診断」を実演して、ピーマンの栄養診断基準値と照らし合わせることで、自分自身で簡単に施肥管理の判断ができ、加えて、養液土耕システムにより施肥の調整がしやすくなることを解説しました。

### ② ウイルス病(黄化えそ病、モザイク病)と線虫対策

ピーマンの黄化えそ病を媒介するアザミウマ類のまん延を防止するために、栽培終了後すぐに古株枯死させる方法について、農薬「キルパー」の使い方動画を用いて示しました。また、モザイク病、線虫対策の抵抗性品種について、適正な利用方法の理解を深めていただきました。

### ③ 農薬適正使用

農薬を使用した際には、使用履歴を記帳することが大変重要であることを強調するとともに、記帳の例について解説しました。また、農産物から基準値を超える農薬が検出され、回収を余儀なくされた事例を紹介し、農薬適正使用の重要性について意識を高めていただきました。

出席した生産者からは、ピーマンの栄養診断や養液土耕システムについての質問が寄せられ、ハウス内環境や施肥を測定・管理する農業機器への関心の高まりを感じました。

普及センターでは引き続き、環境制御技術や施肥管理技術、病虫害対策などの情報提供により、ピーマンの収量向上等を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター(成長産業)



実演を交えた講義の様子